

科目名	小児看護学Ⅱ	開講年次	2年次前期	
		講義時間(単位)	30(1)	
講師名	大山魅香 田實真一 吉川倫			
授業目標	小児が疾病や障害を受けることによる成長・発達に対する影響と、その家族の不安や日常生活の変化に対する支援について学ぶことができる。 疾病や障害を持った小児とその家族の外来や病棟での看護の実際と長期的及び社会的支援を必要とする小児と家族について学び、臨床判断能力を養うことができる。			
使用テキスト	専門分野 小児看護学2 医学書院			
回数	授業内容	授業形態	担当講師	
1～6	呼吸器疾患の看護(RSウイルス、クループ、喘息様気管支炎、急性扁桃炎、気管支喘息) 循環器疾患と看護(川崎病、ファロー四徴症) 腎・泌尿器及び生殖器疾患と看護(糸球体腎炎、ネフローゼ) 血液・造血器疾患と看護(アレルギー性紫斑病、血友病) 神経疾患と看護(てんかん、熱性けいれん) 耳鼻科疾患と看護(中耳炎) 消化器疾患と看護(腸重積) 事故・外傷と看護(交通事故、頭部外傷、誤嚥、溺水、熱傷救急蘇生法) 被虐待児の看護(現状、児童相談所との連携)	講義	大山魅香	
7	障害のある小児と家族の看護 (知的障害、肢体不自由児の看護)	講義	田實真一	
8～15	病気・障害を持つ子どもと家族の看護 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護 疾病の経過と看護 子どものアセスメント、症状を示す子どもの看護 検査・処置を受ける子どもの看護 小児実習記録演習	講義	吉川倫	
評価方法	出席状況・筆記試験			
備考				